



ホームページ

2021.09.16  
No. 026



Twitter

## 申34号「三鷹駅輸送体制の見直しに関する申し入れ」 団体交渉を行う！（提出:2021.6/24 開催:8/25）

1. 輸送体制の見直しを行う根拠を明らかにすること。  
(会社回答) 経営環境の急激な変化を踏まえ、柔軟な働き方などを実践するなど、JR東日本グループ経営ビジョン「変革2027」の歩みをさらにスピードアップさせていくために、効率的な駅業務体制を構築していく。
3. 信号C番が行なっている業務を明らかにすること。また、体制見直し後、信号C番の業務をどのように行うのか明らかにすること。  
(会社回答) 駅輸送業務等に従事してきている。なお、社員の意見等を参考にしつつ、より良い作業ダイヤとなるよう見直しをおこなっている。
8. 輸送体制見直し後、安全・サービスレベルの維持・向上において重大な問題が発生した場合、再度体制を見直すこと。  
(会社回答) 提案の体制で対応可能と考えている。なお、施策実施後も状況を見極めていく考えである。

### ●輸送サービス労組●

- 見直しを行う根拠は何か？
- 営業面における変化であり、信号の日勤が効率化できる根拠にならない。
- ポイント点検の頻度、入出区データの件数は？
- 7月12日に70番のポイント不転換が発生した原因がポイント点検の頻度の低下による錆だと考えている。不転換を発生させないために何を講じたのか？
- 認識は合わない。YS型の普通床板であり、油差しは必要であることからこれまで通り毎日行けるようにすべきである。
- 支社指導も2週間に1回程度であるが、それでは足りないということがポイント不転換で証明された。支社指導がマニュアル的であり現場だけに負担がかかっている。すでに重大な問題が発生している認識であり、体制を戻すべきである。

### ●JR東日本八王子支社●

- 人口減少・テレワーク・オフピーク出勤の進展・チケットレスなど販売チャネルの変更である。
- 信号日勤は8-1型であり、入換・転線・ポイント点検・入出区データの入力・お身体の不自由なお客さま対応業務を行っており、営業を含めて作業ダイヤを見直したことで、体制見直しとなった。
- ポイント点検は2週間に1回。データ入力は1日20件程度である。
- 不転換の原因はわからない。資料のもちあわせはない。2週間に1回、点検の必要な箇所を回っている。頻度が原因という認識ではない。
- ポイント点検の頻度が原因とは考えていないが、対策は支社が入って現場管理者とやり取りしている。頻度が少ないのであればダイヤを見直すなど現場で対策はとっていただいている。
- 現場で尽力いただいて対応していただいている。支社と現場で連携して取り組んでいく。提案の体制で可能であると考えているが、提起いただいたご意見については検討し、体制については考えていく。

### ●確認事項●

- 重大な問題が発生した場合の再度の体制見直しについては検討する。

### ●要請事項●

- ポイント不転換を発生させないようにポイント交換など講じること。
- ポイント点検での油差しを行う作業ダイヤとすること。
- 支社として対策を示すこと。

実際にポイント不転換が発生したことから会社として原因を明らかにし、再度発生させないよう対策を確立すべきである！



ホームページ

2021.09.16  
No. 027



Twitter

## 申34号「三鷹駅輸送体制の見直しに関する申し入れ」 団体交渉を行う！（提出:2021.6/24 開催:8/25）その②

2. 輸送体制の見直しを行なって以降、被管理駅である吉祥寺駅・武蔵境駅へ速やかに駆けつけることのできる体制をとることができる根拠を明らかにすること。  
(会社回答)提案の体制で対応可能と考えている。なお、施策実施後も状況を見極めていく考えである。
5. 2013年4月1日の武蔵境駅の(株)JR中央ラインモール(現(株)中央線コミュニティデザイン)への業務委託、2018年12月1日の吉祥寺駅の(株)JR東日本ステーションサービス・(株)びゅうトラベルサービスへの業務委託後、被管理駅である2駅への三鷹駅からの駆けつけの件数、及び成果と課題を明らかにすること。また、駆けつけた社員の当日の勤務体制について明らかにすること。  
(会社回答)一定数の駆け付け対応を行っている。
6. 被管理駅への速やかな駆けつけ体制を確保するために信号業務は現行通り2徹1日勤体制とすること。  
(会社回答)提案の体制で対応可能と考えている。なお、施策実施後も状況を見極めていく考えである。

### ●輸送サービス労組●

- JESS・CCDとも現地責任者が運転再開の最終的な安全確認が行えるのか？
- 特に吉祥寺からは応援不要と言われるようであるが駆けつけは必要ないのか？
- 武蔵境の体制はどうなっているのか？
- 体制が現場はわからず対応に困る。
- 輸送の現在員措置の1徹がいなくなり体制がとれない。必要な駆けつけが取れない。
- 支社として駆けつける場合どのような体制になると考えているのか？
- 輸送体制が効率化されることから認められない。輸送の2徹体制、信号の2徹1日勤は堅持されるべきである。

### ●JR東日本八王子支社●

- 現地責任者を担うことはできる。最終的な安全確認もできる。が確認する。
- 吉祥寺・武蔵境ともそれぞれの駅との打ち合わせで応援体制が決まる。吉祥寺は駅務責任者1徹営業5徹であるため応援を断るケースもあるようである。
- マネージャー1徹と営業3徹1日勤。
- 管理者は分かっているので問い合わせを欲しい。
- 1徹体制があるべき姿である。三鷹駅を守ることも必要であることから支社に応援を求めて欲しい。
- 現地責任者として輸送主任、補助として営業になると考えている。ただし、輸送主任の駆けつけが遅れ、営業社員が先にかけてくれることもあり得る。ただし必要な訓練が終わっていない社員は現地責任者にはなれないので、案内を行うことになる。
- 輸送1徹、信号2徹の体制で可能であると考える。

# 対立！

鉄道運行の責任・義務としてJR本体が駆け付けを行うべきだ！  
その為にも十分な要員配置が管理駅には必要である！

業務委託において当初は運転再開のための最終的な安全確認ができなかった経緯があり、なし崩し的に取り扱いが変わることで現場は混乱している！



ホームページ

2021.09.16  
No. 028



Twitter

## 申34号「三鷹駅輸送体制の見直しに関する申し入れ」 団体交渉を行う！（提出:2021.6/24 開催:8/25）その③

4. 輸送体制の見直しを行なうことでどのように三鷹駅の安全レベル・サービスレベルが向上するのか明らかにすること。  
(会社回答)引き続き、安全やサービス品質の維持・向上を図っていく考えである。
7. 鉄道の安全を守るため、駅の特情を熟知した駅輸送のプロが信号業務を取り扱うこと。また新たに信号業務を担う社員に対して十分な教育・訓練体制を確立すること。  
(会社回答)引き続き、必要な教育は行っていく。

### ●輸送サービス労組●

- 70番のポイントを含め、駅構内を熟知した社員の配置をすることで安全・安定は守られる。
- 申27号の八王子駅の輸送体制の見直しでも求めたが、経験年数の長い社員の異動に伴い、安全レベルの低下を招くような事象も発生している。
- 認識は合わない。その駅のプロが必要である。駅では新しく人が異動すると誰がだされるのか？またいつまでいてもらえるのか不安がつかまとう。計画的に社員の運用を行ってほしい。
- 特に信号・輸送業務は構内が駅ごとに異なり、その駅ごとの特情を把握することが必要である。異動一般を否定するものではないが、駅を知り尽くすベテラン社員がいることで安全レベルは保たれる。
- 認識は一致しない。ジョブによる異動で安全レベルは低下している。安全レベルを維持・向上させるためにベテランを配置して欲しい。
- 駅では企画業務にウエイトが置かれている。赤字業績であることから増収についても必要であると思うが輸送業務・安全にまつわることにしても必要な業務として行うよう現場に指導すべきで。

### ●JR東日本八王子支社●

- 7/12にポイント不転換が発生して以降、発生していない。駅の協力で教育は行っている。駅総体で安全レベルを保っているという認識。
- 異動が伴ったことで事故・事象が発生したという認識にはない。
- 支社として現場をサポートしていくことに変わりはない。その駅の特情については駅でしかわからないことであるため、OJTで教育をお願いしている。
- ほかの駅に異動することで知識・経験は増えステップアップにつながる。ベテラン社員が異動しても残された人で安全レベルは維持・向上すると考えている。
- ベテランが異動したとしても、ベテランから継承していると思われるので、勉強会などで教えてほしい。
- 安全は当社のトッププライオリティであり、安全にまつわる輸送についての教育も行わなければならない。駅総体で輸送を担ってほしい。

各種委員会・マイプロも本来業務というが、  
鉄道輸送を担うことこそが本来業務であるべきだ！  
ジョブによる異動によってベテラン社員がいなくなることで駅の  
安全レベルは低下する！ 駅にベテラン社員を残すべきだ！

12日のポイント不転換の原因は明確にされていません。  
施策の成果と課題について検証を行っていきましょう！  
安全で安定した鉄道による輸送サービスの提供のために、  
現場に知識と経験を蓄積できる職場体制を構築していきましょう！